

第8回 福知山観光ガイドの会 7名参加

平成30年1月22日 10:00~11:15 於: 福知山市役所~福知山城、丹波生活衣館

主な話し合いの内容

今回は、会の活動を知るため福知山市役所から福知山城にかけて実際にフィールドワークで案内していただいた後、意見交換を行なった。(★=団体、◎=市長)

★この市役所前辺りから城郭になる。

◎いつもここから観光案内をスタートしている？



★福知山駅スタートが多く、駅舎は福知山踊りの時にかぶる箕傘をイメージしていることなど伝えられている。その後、惇明小学校の紹介をして本日のコースとなる。

★建て変わる前の裁判所は旧宮津裁判所と同じつくりであり、旧宮津裁判所は明治村で保管されている。裁判所の辺りから福知山城の丸の内に入る。丸の内に入るまではあやめ池がある湿地であった。お城は自衛隊からつながっている山を切って出来た台地に建てられた。このようなことをパネルなどを用いて説明しながら歩いている。

◎パネルなどがあるとイメージしやすいので良いと思う。

★ここ(内記歩道橋もと美術館、お城へ向かう地点)あたりに、夫婦仲が良かったというひろさんと一緒に夫婦での光秀像が欲しい。お城まで上がると顔出しパネルはあるが、福知山城を訪れる方の多くは光秀ゆかりの地ということで来られているので。

◎光秀像なら作って寄贈いただけるという方があれば嬉しい。

★昇龍橋はバリアフリーになっておらず、車椅子の方はかなり遠回りしてもらうことになる。

◎最短経路にすることは、勾配等お城の構造上どうしても難しい。特にお困りの地点などあれば、またお聞かせいただきたい。

(福知山城本丸到着)

★お城は以前は桜の名所だったが、今は咲く木が少なくなった。去年植えられた桜についても紹介している。



◎市民グループの方と協働して今年も桜を植えたいと考えている。

★石垣は、転用石(寺の宝きょう印塔やお墓などの石)が多く用いられているのが特徴である。大雨が降っても水が表面を流れない積み方である。

★井戸には、地下道があったのではないかという説もあったが、再建の翌年にカメラを入れて調査したところ、水がコンコンと湧いており、どうやら地下道はないという結論であった。海拔0mより深い、日本一の深さの井戸で何かもっと売り出していけないかと考えている。

★鯨瓦は一般的なお城と同様、南北に雄雌ついている。こちらに原寸大のものがあり、福知山駅構内にあるものと対になっている。

★石垣にハートの形の石がいくつかある。それを全て見つけて御霊神社で祈ると願いが叶うかも！？と遊び心も取り入れている。

★福知山の「知」は廃藩置県までは明智光秀の「智」であった。

★お城の中もぜひガイドしたいが、今日は時間の関係で無理である。中もみどころがたくさんある。

★観光バスの駐車場があそこ（ゆらのガーデン横）に1台しかなく、2台目以降は高架下になる。

◎観光バスは多い？

★同じ時間帯にバッティングすることが多い。同じツアーで2台以上の場合、高架下に停めるバスの方は観光できる時間が5分程度ではあるが短くなり、不公平だとクレームも多い。



（丹波生活衣館に移動）

◎本日は、御案内いただき皆様の御苦勞が知れた。また、再発見もあった。

★フィールドワークの中でもお話したが、観光バス駐車場3台以上の確保、国道9号からお城までの間に道の駅の設置、光秀とひろこの夫婦像の設置、お城のバリアフリー対応、ミュージアムシアター等建設、観光イベントの充実、ガイド養成、ポップランドの存続と、ガイドをする中でお客様から言われる意見を集約した。

★まだ数は多くないがインバウンド観光に対応した説明案内の多国語表記もぜひ取り組んでいただきたい。

★福知山の道はセンターラインや横断歩道が薄くなっているところも多い。観光の面からも改善をお願いしたい。

◎お話しの一つ一つに答えることは出来ないが、お城、観光は貴重な資源であり、お城を全国にアピールできるようなイベントを考えている。道路については具体的箇所を教えていただければ道路管理者に伝え、市の場合は危険度などにより優先順位をつけて対応していく。

ボランティアガイドとして熱心に活動される皆様だからこそその意見を聞けて本日はありがとうございました。